

「保育士養成課程において効率よくピアノ基礎を学ぶには」
～幼児の理想的な音楽経験のために～

麴 谷 さ つ き 吉 原 千 景
四條畷学園短期大学

Efficient Learning Method on Piano Basics in Nursery Teacher Training
～ Creating Ideal Musical Experiences for Young Children ～

Satsuki Koujitani, Chikage Yoshihara
Shijonawate Gakuen Junior College

「保育士養成課程において効率よくピアノ基礎を学ぶには」
～幼児の理想的な音楽経験のために～

麴谷 さつき* 吉原 千景**

Efficient Learning Method on Piano Basics in Nursery Teacher Training
～ Creating Ideal Musical Experiences for Young Children ～

Satsuki Koujitani Chikage Yoshihara

～序章～

喜怒哀楽の感情や情緒を高め、表現するツールとして幼児の音楽はとても重要な役割を果たす。そのため、保育の現場では日々様々なシーンで多様な音楽が用いられている。その中、ピアノの責任は重大だ。それは、音楽の三要素「リズム」「メロディ」「ハーモニー」を一人の人間が一度に音にすることが可能であるこの楽器の特性を活かし、幼児が「聴いて」「感じて」「表現する」ことに導くのが保育士が弾くピアノの役目であるからだ。

しかしながら、ピアノ初心者保育士を志すことも多くある。初心者も経験者も単に音を弾く事だけに留まらず、表現する領域まで習得してもらいたいと願うのだが、それには基礎が重要であり、また、その基礎を効率よく、かつ、徹底的に身につける必要がある。

四條畷学園短期大学教授・淡路和子氏の、晩学ながらもピアノを始めて1年足らずで音大入学レベルにまで到達した経験は、十代終盤になりピアノを始める学生に希望を与えるものである。

短期間での上達はやる気や情熱だけでは不可能である。そこにはコツやポイントがあり、淡路教授の経験からヒントを得て四條畷学園短期大学では基礎を学ぶための独自の教材を作り、授業に活用している。初回の授業から音階と和音を学ぶことで音階では指番号、運指、音符の音価まで言及し、和音では左手で弾く基本の6つの形を徹底的に覚

え込ませ、それらを拍子の中で弾かせるなど、この教材を一通り習得することで初心者でもバイエル中盤が弾けるレベルにまで到達するという、画期的なものだ。

「晩学でピアノを始める学生の為の練習方法」について

初心者の学生が、練習をする際に共通して困っている問題は、曲を弾く時の「運指」、もう一つは「読譜」である。そこで、この問題解決のために、より簡単でシンプルな方法でのピアノ指導を考えてみた。それは、和音や音階の導入を工夫し、独自に和音をマーク化して練習する方法である。

1. 和音マークでの練習に入る前のポイント

初心者は、読譜や運指に余裕がないために、余計な手の動きをしたり意味もなく手を広げすぎたりして、ミスタッチの原因を作っている。そこで練習をする際に気づいてほしいのは、手を基本的な形（冊子18頁）でピアノの鍵盤に置くとピッタリと収まるという事である。バイエルなど初期の練習曲は手を置いたままで弾ける曲が多い。しかし、初心者は意外にこのことに気づいていない。この事を頭に置いておくと正確に弾くことにも繋がり練習の段取りもよくなる。常に「手を置いたままで弾ける」箇所を探す事で、長いフレーズも整理して弾けるようになり、読譜や暗譜の手助けにもなる。

次に「手を置いたままで弾く」ことを応用して、「和音」と「音階」を楽譜を使用せずに、マークや

* 四條畷学園短期大学 非常勤講師

** 四條畷学園短期大学 非常勤講師

指番号のみで練習する方法である。この2つは習慣的にはほぼ弾き方が決まっているので、前もって幾つかのパターンを練習して指の運びを覚えておく。そうすることで、音の並びを「和音」や「音階」の塊としてとらえることができ読譜の助けになる。具体的に練習方法を次のようにまとめた。

1) 和音マークの練習方法

伴奏に使われる構成音、つまり和音（基本形や転回形）は基本的に弾く指使いは決まっている。このことを利用し、和音を弾いた時の手の形状を種類分けして※マーク（冊子 17～20 頁参照）にした。そして初心者自身が練習中に一目でわかるように、そのマークを楽譜（左手で弾く方）に記入（冊子 25 頁参照）して利用する。マークは、すぐに分かり覚え易いように、ハート、星、ダイヤの3種類とした。実際の楽譜では、和音の形よりも分散の形（冊子 30 頁参照）等が出てくることの方が多いので、使われている構成音（和音）の種類を判断し記入すると良い。そして、和音を弾く時の手の形状に当てはめて弾くことができる。最初に和音マークと弾き方に慣れる必要があるので冊子 17～20 頁を参考に、予備練習として練習課題をマスターする（冊子 28、29 頁）。4 分音符 1 拍がメトロノーム 80 くらいで弾けるように練習する（勿論、最初は慣れるまで自分のペースで練習し、徐々にテンポを上げていく）。前もってこの練習課題をしておく、実際の練習曲で和音マークを記入する際に、和音マークを判別しやすくなる。

※このマークは、和音記号ではなく和音を弾く時の手の形を種類分けしたもの。初心者にもわかるように、よく使用される和音を例に挙げている。♡は基本形のドミソを当てはめ、◇は転回形のドファラ、☆はシファソを当てはめてマークの手の形を覚える。

2) 和音マークによる練習のメリット

練習においてもマークを見た時に手の形を直ぐに判断できるので、読譜の遅れをカバーでき、先に正確な打鍵の位置に指が行く。また、異なった和音が次々と出てきても、和音マークの記入により運指の準備がスムーズになりミスタッチを防ぐことにも繋がる。この和音マークの1番のメリッ

トは長調、短調関係なく全調に対応できることである。余裕があれば、ハ長調以外の調（冊子 31 頁参照）で、冊子 29 頁を練習しておくことを勧める。また、冊子 29 頁が十分練習できた時点で、和音の分散形での練習（冊子 30 頁）をしておくバイエルの練習がスムーズにいく。

3) 指番号による音階の練習

楽譜がすぐに読めないことも考慮して、指番号のみで練習できる教材を載せている。最初にハ長調の音階（冊子 7 頁）を片手で確実に弾けるまで十分練習することがポイントである。そして、バイエル等の初歩の練習曲を始めるまでに、シャープ4つまでの音階（冊子 8 頁）を弾けるようにしておく。弾けるようになったら、読譜と結びつけるために楽譜での練習に切り替える（冊子 9 頁）。

4) 指番号による音階の練習のメリット

楽譜を使用しないので、調号のついた音階練習が容易にできる。このことによって、指を置く鍵盤の位置を指が覚え、反射的に指が必要な鍵盤に行くようになる（和音の練習も同じである）。練習の際に、調号のシャープの位置も、指の感覚での判断が可能になってくる。後々、調号のついた曲を練習する時に、調号のついた音に対処でき読譜の助けにもなる。音階は、初歩の楽譜だけでなく難易度の高い楽譜にもよく出てくるので是非練習してもらいたい。

2. 「読譜の際の問題点と解決方法」について

楽譜が読めない、或いは苦手とよく聞かすが、初心者は、中央のドから数えて目的の音を読もうとするので、かなり手間になって早く読めない原因を作っている。そこで、同じ数えて読むのであればド以外にも数えて読むための基点になる音を増やすことを考えた。

1) 音の覚え方（ト音記号の譜表）

ト音譜表は、主に旋律がよく出てくることが多いので、まず、5 線上の 5 つの音『ミソシレファ』を覚える（冊子 4 頁参照）。忘れては何もならないので、ごろ合わせ（③②①る、/④んこん、⑦イトだよ）で覚えると良いだろう。このことを利用して読譜の回数が増えていけば、中央のドから離れ

た音の読譜も慣れてくる。いずれ数えて読むことから解放されると思う。

2) 音の覚え方（ヘ音記号の譜表）

次に、一番読譜に苦勞するのはヘ音記号である。ピアノの楽譜では、主に左手で弾くパートにでてくる。また、和音の形、或いはその変形で出てくることが多い（初歩の練習曲の場合）。その特性を生かし、和音・ドミソの形を最初に覚える（冊子4頁参照）。複数の音を読む練習にもなるので、ト音記号同様にヘ音記号もその3つの音『ドミソ』を数えて読むための基点にするのである。確実に3つの音を覚えたら、次に中央のドの音を覚える（ヘ音記号の第5線の上のド）。このドはト音記号のドと形も似ているので覚えるのは容易だ。最後に、第1線（ヘ音記号の譜表）のソを覚える。この音は童謡などの曲を弾く時によくでてくるので覚えておくと便利である。これで、ヘ音記号の1オクターブ半の音を読むことが可能になる。もう1つ注意してほしいのが、和音の読み方である。読譜の読み方のルールとして、和音の音は下から上の順に読む。指使いの記入もこれに従う。

「実際の練習での効果」

ここに紹介したマークや指番号による練習は、バイエル等の練習で運指がスムーズにいかない初心者にとって、読譜ができていなくてもウォーミングアップとして利用できる。また、調号を使った練習にも入っていけるので、効率の良い練習が可能になるだろう。実際に初心者向けに行われている。ある学生に実験的に行ったレッスンでは、数週間で調号も含め、バイエルの練習曲に取り組める準備ができた。ハ長調での音階や和音が弾けるようになった段階から、バイエルの練習曲を併用して練習を始めたが、何もしないで練習した学生と比べ、読譜や運指がスムーズであった。個人差があるものの練習を続ければ必ず効果は出てくるように思う。近い将来、保育者を目指す人は、何れ一人で曲を勉強し保育現場で実践しないといけない時が来る。保育において、余裕をもって幼児たちの前でピアノが弾けることは、幼児達に良い音楽的な刺激を与えられ、音楽に関わる表現活動の可能性を広げられるだろう。是非、ピアノの力を身につけるためにも役立ててほしい。

～結論～＊

幼児にとっての音楽は「表現」のみならず「健康」「人間関係」「環境」「言葉」五領域全てに多大な影響をあたえるものだ。

- ・みんなで歌を歌うことで得られる充実感；健康な心と体【健康】
- ・合奏や合唱で音楽で調和する喜び；他の人々と親しみ、支え合う力【人間関係】
- ・生活の歌や季節の歌などのメロディや歌詞から感じ、学ぶこと；物事に好奇心や探究心をもってかわり、知ったことを生活に取り入れようとする力【環境】
- ・歌詞を聞き、覚え、歌うことで語彙が増え、流暢に話す力につながる；言葉に対する感覚や言葉で表現する力【言葉】（※参考 幼稚園教育要領第2章より）

これらは「生きる力」へとつながる。音楽が幼児にもたらす影響は甚大だ。相手が幼児だからと言って、また保育士のピアノ経験の浅さを理由に音楽の質を落とすわけにはいかない。頭脳も心もやわらかい幼児期の体験は生涯記憶に残り続ける。だからこそこの時期に接する物は上質かつ、心の通う感動的なものであるべきだ。幼児の音楽の重要性を理解し、一人でも多くの保育士のピアノがその架け橋となることを願ってやまない。

－ 2017. 10. 25 受稿、2017. 10. 31 受理 －

初めてのピアノ/レッスン

ピアノを弾くために 1

四條畷学園短期大学 音楽研究室

ピアノの練習のときには必ず・・・

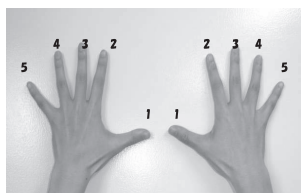
- ・ **練習する時に、鉛筆を一本用意しましょう**
(注意されたことや、気のついたことがすぐメモできます)
- ・ **楽譜に指番号を記入しましょう**
(ミスタッチを防ぎ、練習の能率を上げ、暗譜にも役立ちます。)
- ・ **楽譜に和音の種類(♡・◇・☆)を記入しましょう**
(両手で弾く場合、和音の種類が確認でき、手の形を整えミスタッチを防ぎます。)
- ・ **足で拍子をとりましょう**
(後で、長い音符や難しいリズムが出てきた時、正確に弾く手助けになります。)
- ・ **できるだけ、鍵盤を見ないで弾きましょう!**
(保育の現場では、子供の顔を見ながら指導することが多いので慣れましょう。)

ピアノを弾くために 1

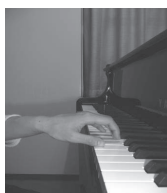
1. ピアノを弾く手の形と指番号 …… 1
2. ピアノ/鍵盤のドの位置 …… 2
- ピアノ/鍵盤と楽譜の音の位置 …… 3
3. 楽譜の読み方・覚え方 …… 4
4. 指のウォーミングアップ …… 6
5. 音階を弾いてみよう ハ長調 (指番号のみでの練習) …… 7
6. 色々な調の音階を弾いてみよう …… 8
- 調子記号・臨時記号 …… 10
7. オクターブを利用して、間に出てくる音を弾く(左手) …… 11
8. 音符の長さ …… 12
- リズム練習 …… 15
9. 和音の形をマークで覚えよう …… 17
- 左手で和音を弾く前に …… 19
10. よく使う和音 …… 20
11. 半音・全音について …… 21
12. 変化記号について …… 22
13. 右手で半音階を弾いてみよう …… 23
14. 拍子記号について …… 24
15. 実際に弾いてみよう(和音マークの記入例) …… 25
- おすんでひらいて 1 …… 26
- おすんでひらいて 2(左手を和音で練習) …… 27
- 和音の練習 1 …… 28
- 和音の練習 2 …… 29
- 和音の応用練習(左手の伴奏形の練習) …… 30
- 和音の練習 3(ハ長調以外の練習) …… 31

① ピアノを弾く手の形と指番号

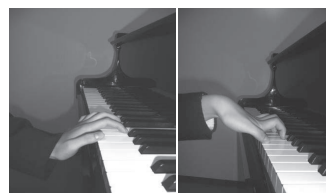
指番号



良い例



良くない例



ピアノを弾く時の姿勢

肘は鍵盤に手を置いた時に
床と平行になるように！

良い姿勢



悪い姿勢



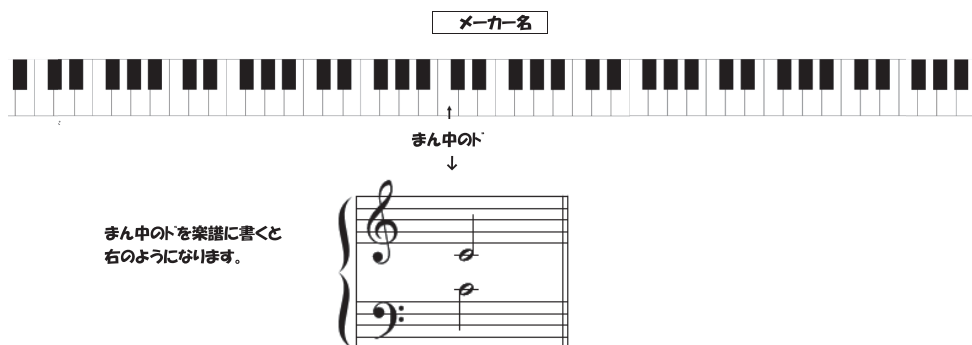
② ピア/鍵盤とドの位置

まん中のドは…

黒鍵の2つと3つのかたまりを1セットとすると全部で7セットあります。左右どちらから数えても

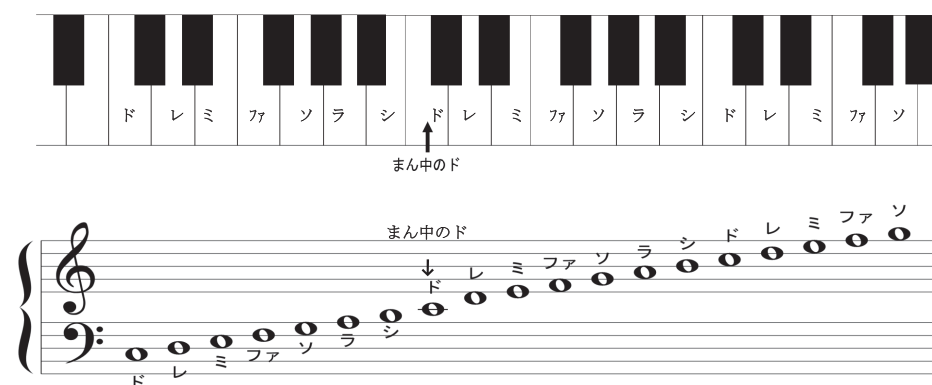
4つ目の塊がまん中です。その場所にあるドが、まん中のドです。

または、メーカー名の左側に一番近いのが、まん中のドです。



2

ピアノ/鍵盤と楽譜の音の位置



ピアノ/鍵盤は右へ行くほど音が高くなり、左へ行けば低くなります。

3

③ 楽譜の読み方、覚え方

※最終的には数えなくても読めるようにしなければなりません、楽譜を読むための導入として覚えて下さい。

ト 音記号の楽譜（高音部譜表） … 語呂合わせで覚えよう！

線の音：ミ ソ シ レ ファ ⇒ み そ し る、 / れ んこん、ファ イだよ

間の音：ファ ラ ド ミ ⇒ ファ イっぱつ らっきょで / ド ミ の

ワンポイント 1

ヘ 音記号の楽譜（低音部譜表） … 形で覚えよう！

まず…「ド ミ ソ」の形で覚えましょう。



※この3つの音を覚えると伴奏に最低必要な音が覚えられます。

ワンポイント 2

4

ワンポイント 1

楽譜にしてみると

線の音



間の音



初心者が楽譜を読む時に、目的の音をよくドから順番にかぞえて読んでしまいます。

同じ数えるのであれば、この方法だと離れた音ほど数える手間が少なくて済みます。

※ 覚え方… 5つの音を全部覚えてもよいですが、「ドミソ」と「レファ」の塊にして覚えると便利です。

ワンポイント2

ヘ音記号の音を読むのは苦手という人のために…

そこで、このテキストでは形で覚え、和音の1つ1つの音に対して上下の音を読むという方法を使います。

たとえば「ド」の下音「シ」と上音「レ」を、「ミ」はレとファ、「ソ」はファとラ、計7つの音を覚えることができます。

5

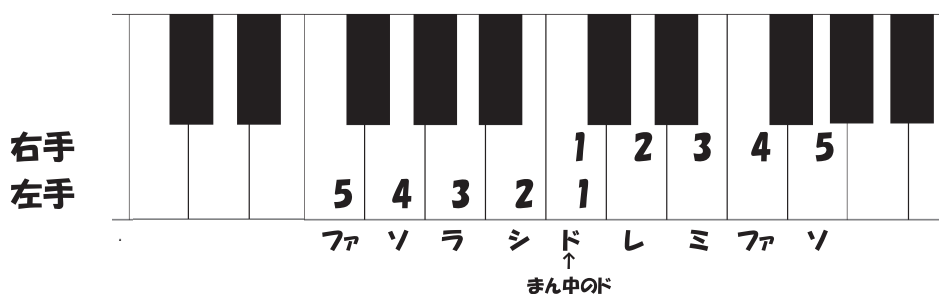
④ 指のウォーミングアップ

指番号順に弾いてみましょう。

1. 1 2 3 4 5

2. 1 2 3 4 / 5 4 3 2 / 1 2 3 2 / 1

3. 1 3 1 3 / 5 3 5 3 / 1 3 5 3 / 1



6

⑤ 音階を弾いてみよう ハ長調

/ の印まで弾いたら、1 の指を 3 の指の下にくぐらせて、次の音を引いてください。

逆から弾く場合は / の印で、1 の指の上から3の指かぶせて、次の音を弾いて下さい。

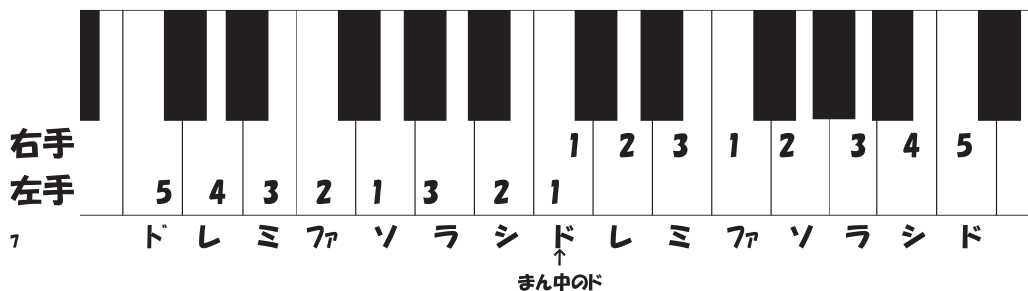
(右手) 1 2 3 / 1 2 3 4 5

ド レ ミ , ファ ソ ラ シ ド

(左手) 5 4 3 2 1 / 3 2 1

ド レ ミ ファ ソ , ラ シ ド

(両手) 1 2 3 / 1 2 3 4 5



⑥ 色々な調の音階を弾いてみよう ※○で囲った数字は、#(シャープ)をつけて弾きましょう(片手ずつ)

右手	1 2 3 / 1 2 3 ④ 5
ト長調	ソ ラ シ ド レ ミ ファ ソ
左手	5 4 3 2 1 / 3 ② 1
右手	1 2 ③ / 1 2 3 ④ 5
二長調	レ ミ ファ ソ ラ シ ド レ
左手	5 4 ③ 2 1 / 3 ② 1
右手	1 2 ③ / 1 2 ③ ④ 5
イ長調	ラ シ ド レ ミ ファ ソ ラ
左手	5 4 ③ 2 1 / ③ ② 1
右手	1 ② ③ / 1 2 ③ ④ 5
ホ長調	ミ ファ ソ ラ シ ド レ ミ
左手	5 ④ ③ 2 1 / ③ ② 1

8

音階を楽譜にしてみると……

※赤い音符は#を「つ」けて弾いてください。(21 ページ参照)

音符の上に書いている数字は右手、下に書いている数字は左手の指番号です。

ハ長調	
ト長調	
二長調	
イ長調	
ホ長調	






9

※ ハ長調の音階は、上記の音階が十分に弾けるようになってからの方が練習の段取りが良いので、あえて載せていません。

⑧ 音符の長さ





	⇒			
4分音符を 1拍とすると…		2分音符は 2拍	付点2分音符は 3拍	全音符は 4拍

休符の長さについて


	⇒				
4分休符を 1拍とすると…		2分休符 2拍	全休符 4拍	8分休符 4分休符の半分	16分休符 8分休符の半分

12




1拍分の色々な形のリズム…

	⇒			
(タン)		(タ タ)	(タ タ タ タ)	(タ タ タ)
4分音符1つで…		8分音符は 2つ分	16分音符は 4つ分	3連符は 3つ分

その他

				
(タ - - タ)		(タ タ - タ)		






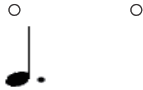

※上記のリズムを下記のように書くこともできます。

			
(タ - - タ)		(タ タ - タ)	

13

👉 ワンポイント

1拍以上の長さのリズムは分りやすいですが、1拍分の様々な形のリズムをリズム読みするのは難しいです。
そこで、言葉に置き換えて読むと分りやすくなります。

パン	ゴ マ	マツタケ	イ チ ゴ
			
しーた け	しっ ぽ		
			
ぞ - う さん	ド ロ ッ フ ス		
			

14

リズム練習…1

○ 印を一定の速さで手をたたきましょう。

それができたら、手をたたきながら言葉を言ってみましょう。

○	○	○	○
① しーたけ	しーたけ	しーたけ	しーたけ
○	○	○	○
② まつたけ	まつたけ	まつたけ	まつたけ
○	○	○	○
③ パン	パン	しいたけ	まつたけ
○	○	○	○
④ パッ カ	パッ カ	しいたけ	まつたけ

15

リズム練習…2 (14 ページを音符に置き換えると…)

① ○ ○ ○ ○

(し た け)

② ○ ○ ○ ○

(ま つ た け)

③ ○ ○ ○ ○

(パ ン)

④ ○ ○ ○ ○

(パ ッ カ)

16

⑨ 和音の形をマークで覚えよう

まず、♡・◇・☆のマークの和音を覚えてください。

※ 和音をマークで覚えると読譜のスピードアップと弾く時の手の形がよくなります。

♡

⇒

ド ミ ソ まん中のド

※ ♡は、曲の進度が進むと、応用として 421 の指使いも出てくる。

☆

⇒

シ ファ ソ まん中のド

◇

⇒

ド ファ ラ まん中のド

17

ワンポイント

和音を弾く時、できるだけ手の形が崩れないように弾くことがミスタッチを防ぐポイントです。

手の形が崩れないようにするには・・・

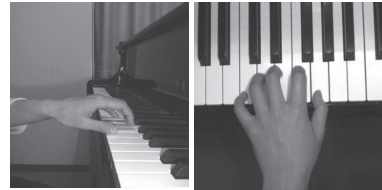
手を軽く鍵盤の上に置くと、図のようになります。この手の形が

♡・◇・☆のマークの和音を弾く時の基本の形になります。

♡ は基本の形で弾けます。

☆ は基本の形から5の指を左へ1つずらすと弾けます。

◇ は基本の形から1の指を右へ1つずらすと弾けます。



基本の手の形

ワンポイント

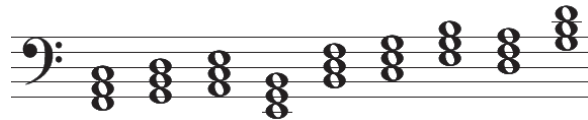
♡・◇・☆のマークは和音の種類を意味するものではありません。

長調・短調に関係なく、和音の基本形・転回形を弾く時の手の形を種類わけしています。

例えば ♡ の形で弾けるのは、「ドミソ」以外に「ファラド」や「ラドミ」も同じように弾けます。

他のマークも同じように当てはめられます。

♡ の形で弾ける和音の例 →



18

左手で和音を弾く前に！予備練習

指番号通りに弾いてみよう

♡の練習

5 5 3 3 / 1 1 3 3 / 5 5 5

ド ド ミ ミ ソ ソ ミ ミ ド ド ド

5 3 5 3 / 1 3 1 3 / 5 3 1 3 / 5

ド ミ ド ミ ソ ミ ソ ミ ド ミ ソ ミ ド

☆の練習

5 5 2 2 / 1 1 2 2 / 5 5 5

シ シ ファ ファ ソ ソ ファ ファ シ シ シ

5 2 5 2 / 1 2 1 2 / 5 2 1 2 / 5

シ ファ シ ファ ソ ファ ソ ファ シ ファ ソ ファ シ

◇の練習

5 5 2 2 / 1 1 2 2 / 5 5 5

ド ド ファ ファ ラ ラ ファ ファ ド ド ド

5 2 5 2 / 1 2 1 2 / 5 2 1 2 / 5

ド ファ ド ファ ラ ファ ラ ファ ド ファ ラ ファ ド

19

⑩ よく使う和音

バイエル教本によく出てきますので
覚えてください。

大文字の数字は左手の指番号
小文字の数字は右手の指番号

↓

※ 和音の練習は 28 ページにあります。

20

⑪ 半音・全音について

半音とは、音の幅の最小単位のことです。

全音は半音二つ分（半音＋半音）の関係をいいます。

半音になる鍵盤…

ピアノの黒鍵と、その黒鍵に隣り合う白鍵の間は、半音です。

（いーう、えーお、きーく、うーえ、おーか、くーけ）

また、間に黒鍵を挟まない隣同士の白鍵の間も、半音です。

（あーい、かーき）



全音になる鍵盤… いーえ、えーか、きーけ

鍵盤同士が隣り合って見えますが、間に黒鍵を挟んでいます。

21

⑫ 変化記号について

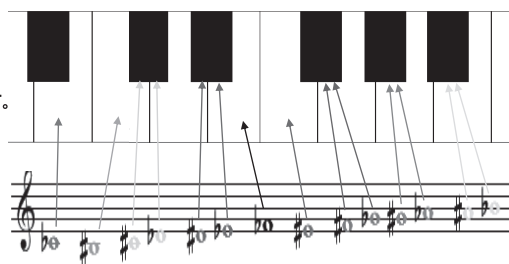
変化記号は音符(棒が上向きでも下向きでも)の左側につけます。

(シャープ) 音を半音上げる (＃は右隣の鍵盤を弾く。)

b (フラット) 音を半音下げる (bは左隣の鍵盤を弾く。)

♮ (ナチュラル) 音を元に戻す (＃またはbの付かない状態にする。)

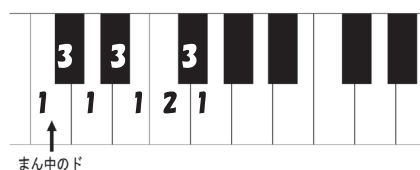
※音符に＃やbがつくと、ほとんど黒鍵をひくことになりませんが、場合によっては、白鍵を弾くこともあります。
右の楽譜を鍵盤で弾くと矢印の位置になります。



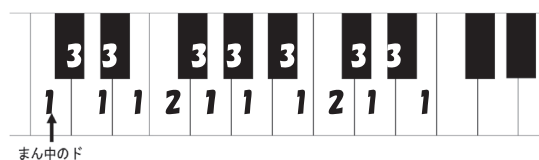
22

⑬ 右手で半音階を弾いてみよう

♪ 1 3 1 3 / 1 2 3



♪ 1 3 1 3 / 1 2 3 / 1 3 1 3 / 1 2



ワンポイント

鍵盤を見ると黒鍵はいつも3の指ですね。

黒鍵の無いところはいつも1と2の指です。

23

⑭ 拍子記号について

ト音記号やヘ音記号の右隣に分数の形で書かれている数字を拍子記号と言います。

3

← 4分音符が、1小節に3つ分入る(1小節に音符が入る数)

4

← 4分音符(1拍の基準になる音符の名前)



3

← 8分音符が、1小節に3つ分入る(1小節に音符が入る数)

8

← 8分音符(1拍の基準になる音符の名前)



24

⑮ 実際に弾いてみよう(和音マークの記入例)

左手の和音の種類を楽譜に記入してみよう。(16ページ参照)



ヘ音記号の和音は下記の楽譜の様に变えて弾くこともできます



25

むすんでひらいて…1

※ 全音出版「やさしい伴奏によるこどものうた」より

左手の和音の種類を記入して弾いてみよう(16ページ、20ページ参照)

※ 1小節ごとに同じ音が含まれている和音を探してマークを記入してみましょう。

※ D.C.は曲の頭に戻り Fine で終わる。
(ダ・カーボ) (ファイネ)

26

むすんでひらいて…2

左手が難しい場合、和音にしてもひけます。

D.C.

27

和音の練習 1

①	♡ → ◇ → ♡	* 足で拍子を取りながら4回ずつ弾くこと。 (※マーク1つにつき4回という事です。)
②	♡ → ♡ → ♡	
③	♡ → ◇ → ♡ → ♡	* <u>鍵盤を見ないで弾くこと。</u>
④	♡ → ☆ → ♡	
⑤	♡ → ☆ → ♡	⑥ ♡ → ★ → ♡
⑦	♡ → ◇ → ★ → ♡ → ☆	

28

和音の練習 2

①	♡ → ★ → ♡ → ☆ → ♡ → ◇ → ♡ → ☆
②	♡ → ◇ → ♡ → ♡ → ♡ → ★ → ☆ → ♡

* 足で拍子を取りながら4回ずつ弾くこと。

* 鍵盤を見ないで弾くこと。

29

和音の応用練習(和音マークの記入例)

※ 今度は、29 頁の「和音の練習 2」を使用して、左手によく出てくる伴奏形をそれぞれのマークに当てはめて変奏してみよう。(慣れるまで下記の参考譜例をそのまま練習してもよい)

1~4 までの変奏ができるようになったら、ハ長調以外の調でも練習してみよう。

各和音マークを伴奏形にした譜例

1

↓

2

↓

3

↓

4

30

和音の練習 3(他の調でも練習してみよう)

29 頁の練習ができたなら他の調でも練習してみよう。

(下記の楽譜は、各調のマークの和音です。)

ハ長調

ト長調

ニ長調

イ長調

ホ長調

31

